

自立と共生！

たくましい日本！

No. 160号

## 民主党 中川正春の 永田町かわら版

2002年4月8日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

## ○外務省改革、問題は深刻

国会の中が、議員同士の指しあい、足の引っ張り合いになっています。

辻元清美議員と加藤紘一議員は、議員辞職をしました。肝心の鈴木宗男議員は、関心が薄れていますが、その筋の情報では、本人の刑事責任が、検察の手でやがて問われる事になります。しかし、一方で、政治家と官僚のあり方や、外務省や農林省などの根本的な改革の論議がまだ総括されていません。政治家個人のモラルは厳しく問われなければならないのはもちろんですが、その後ろにある構造的な問題があります。政治家と金、官僚組織の次に、公設秘書の問題がふきだしてくると、マスコミ報道は、これに集中します。

私は、外務省の改革にこだわっています。外務委員会の運営では、北方4島の返還で、鈴木宗男議員と表裏一体になって2島先行返還論に走った当時の東郷局長や佐藤情報分析官などのロシア派の官僚を委員会に直接呼んで、参考人質疑をすることを要求しています。クラスノヤルスク会談以来、実際に何が起こっていたのか説明すべきだと言っています。今日も、ロシア大使館の参事官より、ロシアサイドの認識を聴き取りました。最近、ロシア国会で開かれた北方4島問題に対する公聴会では、30人の証言のうち、これまでの歴史的な経緯を踏まえて発言したのは二人だけ。後は、全員が、日本と領土問題で話し合うなどもってのほか。本来ロシアの領土である4島を、今さら日本は何を言っているのか、という厳しい論調です。日本のロシア外交とはいったい何だったのか、今さらながら悔しい思いです。この連休に、ロシアのサハリン州にわたって、州知事はじめ今回の国会公聴会を先導した地元の国会議員に、会ってこようかと思っています。

さらに、外務省の中で、情報操作が行われているふしがある。田中真紀子前大臣や鈴木宗男議員の

拒みます。このような情報操作は、悪質であるだけでなく、外交がオープンな舞台で国民の課題として議論されることを、不可能にします。一部の人間だけが情報を独占するから、鈴木宗男議員のような人間に付け入られるスキを作ります。この国会中に、外務委員会で、問題解決をしようと、私が提案しています。与党のサイドも少々乗ってきそうな雰囲気なので、議員証言法の改正をやって、情報開示の規準作りや、外交問題秘密会の活用を実現しようと思っています。

川口大臣のいかにも疲れた表情を前に、委員会議論をしていると、一日が長く感じられます。この人、何とか官僚答弁から開放してやりたいと、釜をかけるのですが、今のところ無味乾燥です。しかし、先日は、「大臣、そんな怖い顔をしないで、ね、少しでもいいからニッコリ。」という気持ちを込めて、声をかけたら、初めて微笑んでくれました。

## ○秘書給与問題に答えて

テレビのワイドショーに出演するようと、時々声がかかれます。出演料、一回3万円が出ます。ビックリしました。放映が終わると、地元の皆さんから、「ネクタイの色に気をつけろ。もっと、元気にしゃべれ。初めてのときは、だいぶ緊張しとったけれど、最近よくなってきた等々。」沢山の激励(?)をいただきます。皆さんの応援に感謝しています。

昨日は、このテレビでも秘書給与の問題が出ました。私自身の秘書についても皆さんに改めて説明しなければと思いました。

現在は、地元の第一秘書が民主党第2区総支部に寄付をしてくれまます。これは、政治資金規正法に基づいて選挙管理委員会に届け出を行い公表されています。

この問題については、今、マスコミから沢山のアンケートが来ています。制度改革をする必要があると思います。私は、現在、アメリカで行われているよう

排除のためには、公電や会談メモなどマル秘情報が次々とリークしてくる。一方で、自分達の責任問題や、外務省としての判断の誤りが表に出そうな時には、官僚たちは、外交上の機密を楯に、情報開示を

な、総額による公費負担を前提に、不正があった場合の罰則規定を厳しく確立する事がいいのではないかと考えています。

中川正春